

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

<研究課題名>

肺炎球菌性肺炎における心血管合併症に関する国際共同研究

（英文課題名：International Study on Cardiovascular Complications on Pneumococcal pneumonia）

<研究期間>

実施承認日～2022年3月31日

<研究の目的・意義>

肺炎は罹患者数の多い疾患ですが、近年の死因別死亡では男女ともに第3位を占める致命的経過をたどる疾患でもあります。近年、肺炎発症と心血管合併症の関連性が報告されています。肺炎を起こす起炎菌の中でも肺炎球菌は最多であり、ときに致命的な重症肺炎を引き起こしますが、この肺炎球菌と心血管合併症の関連性は明確ではありません。

そこで今回、アメリカのSouth Texas Veterans Health Care System and University of Texas Health Science Center at San AntonioのDr. Marcos I. Restrepoらにより、肺炎球菌肺炎患者の心血管系合併症の発症率を調査する国際共同研究が企画されました。名古屋大学医学部附属病院も本研究に参加し、よりよい肺炎治療・マネジメント戦略の構築を目的に本研究を行います。

<研究方法>

先行研究である「入院を要する市中肺炎，医療ケア関連肺炎，院内肺炎，人工呼吸器関連肺炎患者に対する疫学研究：多施設共同前向き研究（CJLSG 0911）」（名古屋大学医学部生命倫理審査委員会 承認番号：859，UMIN000003306）のデータを2次利用する形で研究を行います。2010年3月15日から2010年12月22日までに名古屋大学医学部附属病院にてすでに肺炎と診断された患者様の臨床データを収集・解析します。

<予測される利益・不利益について>

本調査は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して行われます。本研究での調査項目は、全て日常診療の範囲内で行われる診療行為に基づくものであり、人体試料は使用せず治療介入もありません。また、本研究に伴う研究対象患者様への不利益は生じません。

<本研究の実施について>

この研究は名古屋大学生命倫理審査委員会の承認を受けたうえで行われます。本調査で得られた結果はデータベース化され、今後の適切な肺炎治療を検討するために用いられます。また学会発表や論文発表されることがありますが、患者様の個人情報には匿名化され厳重に守られ関係者から外部に漏れることは一切ありません。

もしも患者様が本研究へのご自身のカルテ情報の利用を望まれない場合には、この研究には使用いたしませんので、下記連絡先までご連絡、ご相談ください。

しかし解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できないことがありますのでご了承ください。

連絡先：

名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科

担当：進藤有一郎

住所 名古屋市昭和区鶴舞町65

電話 052-744-2167

FAX 052-744-2176

苦情の受付先：

名古屋大学医学部経営企画課

電話 052-744-2479

<個人情報の保護について>

研究に用いるカルテ情報は全て匿名化して誰の情報かわからないような形にしてから解析を行います。したがって患者様の個人情報が他に漏れる心配はありません。匿名化されたデータやその他の解析資料等は、研究終了後5年間を経過した後、破棄いたします。

<費用について>

この研究に関して、患者さんへ追加でご負担いただく費用はありません。また謝礼もございません。